

大腸癌(進行・再発) 1st, 2nd Line

mFOLFOX-6+Bevacizumab療法

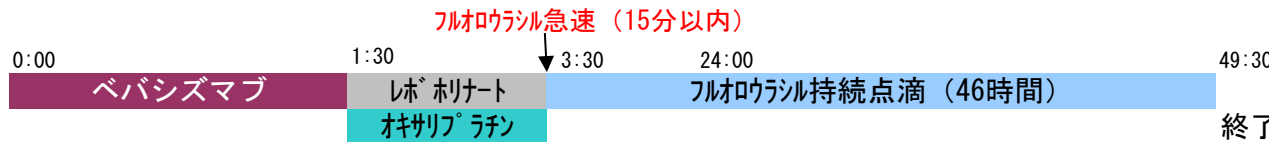
()コース目

患者ID : @PATIENTID

患者氏名 : @PATIENTNAME

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
\$HEIGHT01_Doc	WEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与スケジュール: 1コース14日。 DAY 1に点滴開始。



投与基準: class A (2回目以降 class B)

- ※ ベバシズマブ添付文書及び適性使用ガイドに準じて投与すること。
- ※ ショック、アナフィラキシー様症状、Infusion reaction発現に要注意。
- ※ 原則、埋め込み式ポート挿入後は1週間以上、腹部手術前後は6週間以上空けて投与すること。

《使用薬剤》

ベバシズマブ (BEV): (ベバシズマブ) 100mg/4mL、400mg/16mL
 オキサリプラチン (L-OHP): オキサリプラチン 50mg、100mg/V
 レボホリナート (L-LV): (レボホリナート) 25mg、100mg/V
 フルオロウラシル: フルオロウラシル注 (250mg/5mL、1000mg/20mL)

投与量:

薬剤	標準投与量	計算値 (mg)	投与量 (mg)
ベバシズマブ	5 mg/kg	#VALUE!	
オキサリプラチン	85 mg/m ²	#VALUE!	
レボホリナート	200 mg/m ²	#VALUE!	
フルオロウラシル(急速)	400 mg/m ²	#VALUE!	
フルオロウラシル(持続)	2400 mg/m ²	#VALUE!	

⇒ 2nd Lineは 10mg/kgも可

<< タイムスケジュール: 治療開始時刻を0:00とします。 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

1月1日 (金)	
	メイン側管
0時00分	① 生理食塩液 50mL + グラニセトロン 1A + デキサート 13.2mg 15分で点滴静注
0時15分	② 生理食塩液 100mL + ベバシズマブ mg 90分投与 0.0 mL (初回は90分、2回目以降は60分・30分に変更可)
1時45分	③ 5%ブドウ糖液 250mL + オキサリプラチン注 mg ④と同時に、2時間で点滴静注 0.0 mL
	④ 5%ブドウ糖液 250mL + レボホリナート注 mg 側管から③と同時に、2時間で点滴静注
3時45分	⑤ 生理食塩液 40mL + フルオロウラシル注 mg 全開 (15分以内) で急速静注 0.00 mL
4時00分	⑥ 生理食塩液 50mL フラッシュ (終了後材料 除去)
4時05分	⑦ 生理食塩液 140 mL + フルオロウラシル注 mg トレフューザーポンプにて46時間持続投与 0.00 mL

1月3日 (日)	
2時05分	頃 点滴終了後、ヘパフラッシュを注入し、抜針する

REFERENCE

SL Cheeseman, SP Joel, JD Chester, et al
 A 'modified de Gramont' regimen of fluorouracil, alone and with oxaliplatin, for advanced colorectal cancer.
 British Journal of Cancer 87: 393-399, 2002
 第9回化学療法プロトコル審査委員会承認: 2009年8月6日、更新: 2017年6月1日